

食品安全情報（微生物） No.20 / 2024（2024.10.02）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【[世界保健機関（WHO）](#)】

1. 各国における医療活動および緊急時対応を強化するための世界保健機関（WHO）の取り組みに日本が貢献

【[米国疾病予防管理センター（US CDC）](#)】

1. カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（*Salmonella* Sundsvall および *S. Oranienburg*）感染アウトブレイク（2024年1月19日付最終更新）

【[カナダ公衆衛生局（PHAC）](#)】

1. 公衆衛生通知：ヤモリに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Muenchen）感染アウトブレイク（2024年9月27日付初発情報）
2. 公衆衛生通知：Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンに関連して発生したサルモネラ（*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall*、*S. Oranienburg* および *S. Newport*）感染アウトブレイク（2024年1月29日付最終更新）

【[欧州疾病予防管理センター（ECDC）](#)】

1. リステリア症 - 2022年次疫学報告書

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

【[欧州食品安全機関（EFSA）](#)】

1. フードチェーンにおいて計画的に使用される微生物の全ゲノムシーケンシング（WGS）解析の要件に関する欧州食品安全機関（EFSA）の声明

【[ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）](#)】

1. バーベキューによる食品由来感染症および健康に有害な物質の生成を防ぐための方法

【[ProMED-mail](#)】

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（53）（52）（51）（50）（49）（48）（47）（46）（45）（44）

【国際機関】

- 世界保健機関（WHO: World Health Organization）

<https://www.who.int/en/>

各国における医療活動および緊急時対応を強化するための世界保健機関（WHO）の取り組みに日本が貢献

Japan supports WHO's work to improve health services and emergency response

24 July 2024

<https://www.who.int/westernpacific/news-room/feature-stories/global/japan-supports-who-s-work-to-improve-health-services-and-emergency-response>

日本政府は、世界保健機関（WHO）の活動に協力し、西太平洋地域およびその他の世界各国において急務となっている公衆衛生緊急時対応の実施、および健康被害を受けやすい人々への基本的な保健医療の提供に貢献している。エチオピア、ガザ地区、ナミビア、太平洋諸島諸国、ソマリア、シリア、トンガ、西太平洋地域およびウクライナにおいて行われている活動は、極めて重要で中核的な取り組みである。

日本政府が支援している WHO の活動から内容の一部を以下に紹介する。

西太平洋地域の健康安全保障における回復力（resilience）および連携を強化するための戦略的支援

- 太平洋諸島諸国における健康危機に対応するため緊急医療チーム（EMT）を育成
- 西太平洋地域における疫学専門家の拡充
- トンガにおける“Mali Mali（スマイル）”プログラム

その他の各国における WHO の取り組みへの日本の支援

- エチオピアにおいて移動医療チームにより医療活動を実施
- ソマリアの洪水および干ばつの被災地域における救援活動

ソマリアでは、2023年にWHOのソマリア事務所の主導により12カ月プロジェクトが年間を通して進められ、干ばつおよび洪水の被害を受けた300万人以上を救援する活動が行われた。日本政府はこのプロジェクトに70万米ドルを上回る支援を提供した。WHOは、ソマリア連邦保健福祉省（MHHS）と協力し、ヘルスシステムの回復力を強化しながら、頻発する気候ショックによる健康被害、食料不安、およびコレラをはじめとする疾患アウトブレイクの軽減を目指して活動している。

日本政府からの資金提供により、WHOは、369人の地域医療従事者および121の移動ア

ウトリーチチームを干ばつ被災地域に配置することができた。これにより、小児および妊娠・授乳中の女性を中心とした地元住民に基本的な保健医療および予防接種プログラムが提供された。

本プロジェクトを通じ、5歳未満の小児約48万人および出産年齢の女性25万人以上を含む150万人以上の人々に基本的な保健・栄養サービスが提供された。定期的な予防接種活動では、約41万人の小児に対し、5価ワクチンの3回接種および麻疹含有ワクチンの接種が行われた。

- シリアでの主要病院の復旧を完了
- ガザ地区の患者へのエジプトによる医療提供を支援
- ガザ地区の人々に緊急医療および栄養支援を提供
- ブルガリアでの疾患サーベイランス・診断の向上によりウクライナ避難民を保護

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)
<https://www.cdc.gov/>

カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生したサルモネラ (*Salmonella* Sundsvall および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイク (2024年1月19日付最終更新)

Salmonella Outbreak Linked to Cantaloupes

Posted January 19, 2024

<https://www.cdc.gov/salmonella/sundsvall-11-23/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/sundsvall-11-23/details.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/salmonella/sundsvall-11-23/map.html> (Map)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生したサルモネラ (*Salmonella* Sundsvall、*S. Oranienburg*) 感染アウトブレイクを調査した。

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、カンタロープメロンがサルモネラに汚染され、本アウトブレイクの感染源となったことを示した。

2024年1月19日時点で本アウトブレイクは終息している。

○ 疫学データ

2024年1月19日までに、サルモネラ (*S. Sundsvall*、*S. Oranienburg*) アウトブレイク株のいずれかに感染した患者計407人が44州から報告された(図)。患者の発症日は2023年10月15日～12月25日であった。情報が得られた患者362人のうち158人(44%)が入院した。死亡者は計6人が報告され、州別の内訳はミネソタ州(4人)、インディアナ州(1)およびオレゴン州(1)であった。

公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前1週間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集した。これらの情報は、本アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなった。

本アウトブレイクの患者について得られた人口統計学的情報は以下の通りである(nは当該情報が得られた患者の数)。

年齢 (n=404)	年齢範囲：1歳未満～100歳 年齢中央値：60歳 5歳以下：26% 65歳以上：47%
性別 (n=406)	45%：男性 55%：女性
人種 (n=321)	84%：白人 10%：アフリカ系アメリカ人または黒人 4%：アジア系 1%：アメリカ先住民またはアラスカ先住民 1%未満：複数の人種
民族 (n=328)	85%：非ヒスパニック系 15%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前1週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行った。聞き取りが実施された患者197人のうち135人(69%)がカンタロープメロンの喫食を報告した。この喫食率は、過去に実施されたFoodNetの住民調査において、回答者の19.6%が調査実施日前1週間にカンタロープメロンを喫食したと報告した結果と比べ有意に高かった。本アウトブレイク調査においてカンタロープメロンの喫食を報告した患者134人のうち、67人がカット済みカンタロープメロンの喫食を報告し、40人がホール(丸ごと)のカンタロープメロンの喫食を報告した。患者52人は発症時に長期介護施設に居住しており、聞き取り調査が行われた24人のうち12人がカンタロープメロンの喫食を報告した。小児患者44人は発症時に保育施設に通所していた。情報が得られた小児患者34人のうち19人がカンタロープメロンを喫食していた。

○ 検査機関での検査データ

患者由来 405 検体から分離されたサルモネラ株について全ゲノムシーケンシング (WGS) 解析が実施された結果、抗生物質耐性の存在は予測されなかった。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/index.html>

カナダの当局も本サルモネラ感染アウトブレイクの調査を行い、患者とカンタロープメロンとの関連を特定した (本号 PHAC 記事および以下 Web ページ参照)。

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2023/outbreak-salmonella-infections-malichita-cantaloupes.html>

カナダのこのアウトブレイクの原因株は米国のアウトブレイク株と同じ株であった。

○ 公衆衛生上の措置

調査の結果を受け、以下の通りカンタロープメロン製品の回収が行われた：

- ・ 2023 年 11 月 1 日、カナダで Malichita ブランドのカンタロープメロンの回収が開始された (以下 Web ページ参照)

<https://recalls-rappels.canada.ca/en/alert-recall/malichita-brand-cantaloupes-recalled-due-salmonella>

- ・ 2023 年 11 月 8 日、Trufresh 社 (米国) は、2023 年 10 月 16~23 日に米国の事業者から販売された Malichita ブランドのカンタロープメロン (ホール) の回収を開始した (以下 Web ページ参照)。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/sofia-produce-llc-dba-trufresh-recalls-fresh-cantaloupe-because-possible-health-risk-due-salmonella>

- ・ 2023 年 11 月 15 日に Trufresh 社は回収対象を拡大し、別のカンタロープメロン (ホール) も対象に追加した (以下 Web ページ参照)。

https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/sofia-produce-llc-dba-trufresh-expands-recall-include-additional-order-numbers-fresh-cantaloupe?utm_medium=email&utm_source=govdelivery

- ・ 2023 年 11 月 14 日、Vinyard Fruit and Vegetable Company 社はカット済みフルーツ製品の回収を、ALDI 社はカンタロープメロン (ホール) ・角切りカンタロープメロン ・カット済みパイナップルの回収を開始した (以下の各 Web ページ参照)。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/vinyard-fruit-and-vegetable-company-recalls-cantaloupe-due-potential-salmonella-contamination>

(Vinyard Fruit and Vegetable Company 社の回収情報)

<https://corporate.aldi.us/fileadmin/fm->

[dam/newsroom/Product Recalls/In Association with Sofia Produce LLC DBA TruFresh Anthony Marano Co. and Market Cuts LLC .pdf](#)(ALDI社の回収情報、PDF ファイル)

- 2023年11月22日、Trufresh社は回収対象を再び拡大し、MalichitaブランドおよびRudyブランドのすべてのカンタロープメロン(ホール)を回収対象に追加した。また、Crown Jewels社はMalichitaブランドのカンタロープメロン(ホール)の回収を開始し、CF Dallas社は回収対象のカンタロープメロンを使用したカット済みフルーツ製品の回収を開始した(以下の各Webページ参照)。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/sofia-produce-llc-dba-trufresh-expands-recall-include-all-malichita-brand-and-rudy-brand-fresh>

(Trufresh社の回収情報)

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/crown-jewels-produce-recalls-malichita-z-farms-label-whole-cantaloupes-because-possible-health-risk> (Crown Jewels社の回収情報)

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/cf-dallas-llc-coordination-sofia-produce-llc-dba-trufresh-voluntarily-recalls-select-fresh-cut-fruit>

(CF Dallas社の回収情報)

- 2023年11月27日、Kwik Trip社は、カット済みカンタロープメロンおよびフルーツミックスの回収を開始した(以下Webページ参照)

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/kwik-trip-inc-recalls-specific-fruit-cups-and-trays-due-potential-salmonella-contamination>

- 2023年11月28日、Bix Produce社は、カップ入りカットフルーツ製品の回収を開始した(以下Webページ参照)

<https://www.globenewswire.com/news-release/2023/11/28/2787068/0/en/Bix-Produce-Issues-Safety-Alert-on-Cut-Cantaloupe-Products-Due-to-Potential-Salmonella-Contamination.html>

- 2023年11月29日、GHGA社は、小売チェーン「Kroger」、「Sprouts Farmers Market」および「Trader Joe's」で販売されたカット済みカンタロープメロン製品の回収を開始した(以下Webページ参照)

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/ghga-llc-coordination-sofia-produce-llc-dba-trufresh-voluntarily-recalls-select-fresh-cut-fruit>

- 2023年11月30日、Cut Fruit Express社は、消費期限が2023年11月4~6日のカット済みカンタロープメロン製品の回収を開始した(以下Webページ参照)。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/cut-fruit-express-recalls-fresh-cut-fruit-mix-containing-cantaloupe-because-possible-health-risk>

- ・ 2023年12月5日、TGD Cuts社は、消費期限が2023年11月2～24日のカット済みカンタロープメロン製品の回収を開始した（以下Webページ参照）

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/tgd-cuts-llc-recalls-certain-fresh-cut-fruit-cup-clamshell-and-tray-products-due-possible-health>

- ・ Stop & Shop社は、2023年10月23日～11月11日に販売されたカンタロープメロンの回収を実施した（以下Webページ参照）。

<https://stopandshop.com/pages/stop-and-shop-recalls-trufresh-cantaloupe-2023>

（食品安全情報（微生物）本号、No.1 / 2024（2024.01.10）PHAC、No.26 / 2023（2023.12.20）、No.25 / 2023（2023.12.06）、No.24 / 2023（2023.11.22）US CDC、PHAC記事参照）

-
- カナダ公衆衛生局（PHAC: Public Health Agency of Canada）

<https://www.phac-aspc.gc.ca/>

1. 公衆衛生通知：ヤモリに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Muenchen）感染アウトブレイク（2024年9月27日付初発情報）

Public Health Notice: Outbreak of *Salmonella* Muenchen infections linked to geckos
September 27, 2024 – Original Notice

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2024/outbreak-salmonella-muenchen-infections-geckos.html>

カナダ公衆衛生局（PHAC）は、ヤモリに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Muenchen）感染アウトブレイクに関する公衆衛生通知を発表した。

本アウトブレイクの調査は継続している。

○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して *S. Muenchen* 感染患者が計 25 人特定されており、州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア（1人）、アルバータ（2）、マニトバ（1）、オンタリオ（13）、ケベック（2）、ノバスコシア（3）、およびニューファンドランド・ラブラドール（3）である。

患者の発症日は2020年8月～2024年9月である。患者3人が入院し、1人が死亡した。

これらの患者の他にも複数のサルモネラ感染患者が調査されており、本アウトブレイク

に関連してさらなる患者が特定される可能性がある。

患者の年齢範囲は1～103歳で、患者の64%が女性である。

患者の多くが発症前にペットのヤモリまたはその飼育環境と直接・間接的に接触していたことを報告した。一部の患者は、ヤモリと直接接触はしていなかったが、ヤモリが飼育されている家に居住していた。

2. 公衆衛生通知：Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンに関連して発生したサルモネラ (*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall*、*S. Oranienburg* および *S. Newport*) 感染アウトブレイク (2024年1月29日付最終更新)

Public Health Notice: Outbreak of *Salmonella* infections linked to Malichita and Rudy brand cantaloupes

January 29, 2024: Final Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2023/outbreak-salmonella-infections-malichita-cantaloupes.html>

カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、連邦・州の公衆衛生当局、米国疾病予防管理センター (US CDC) および米国食品医薬品局 (US FDA) と協力し、カナダの9州 (ブリティッシュ・コロンビア、アルバータ、サスカチュワン、オンタリオ、ケベック、プリンス・エドワード・アイランド、ニューブランズウィック、ノバスコシア、ニューファンドランド・ラブラドール) にわたり発生したサルモネラ (*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall*、*S. Oranienburg* および *S. Newport*) 感染アウトブレイクを調査した。本アウトブレイクは終息したとみられ、アウトブレイク調査は終了している。

調査の結果、可能性の高い感染原因として Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンの喫食が特定された。

2023年11月1日、14日および17日に、カナダ食品検査庁 (CFIA) は食品回収警報を発出し、2023年10月11日～11月14日に販売された Malichita ブランドのカンタロープメロンに関する注意喚起を行った。CFIA はまた、2023年11月24日に食品回収警報を更新し、2023年10月10日～11月24日に販売された Rudy ブランドのカンタロープメロンを対象に追加した。これらの製品は、アルバータ、ブリティッシュ・コロンビア、マニトバ、ニューブランズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール、ノバスコシア、オンタリオ、プリンス・エドワード・アイランドおよびケベックの各州に出荷されたほか、これら以外の州・準州にも出荷された可能性がある。また、これらのカンタロープメロンを原材料として使用した製品、およびこれらのカンタロープメロンと近接した製造ラインで加工された製品についても回収が発表された。この回収対象には、ハネデューメロン、パイナップル、スイカなどのその他の果物や各種フルーツ盛り合わせ製品が含まれた。

○ 調査の概要

2024年1月29日までに、本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Soahanina*、*S. Sundsvall*、*S. Oranienburg* および *S. Newport* 感染が確定した患者が9州から計190人報告され、州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア (20人)、アルバータ (4)、サスカチュワン (1)、オンタリオ (24)、ケベック (131)、プリンス・エドワード・アイランド (2)、ニューブランズウィック (2)、ノバスコシア (4)、およびニューファンドラント・ラブラドル (2) であった。

本アウトブレイクの患者の発症日は2023年10月中旬～12月下旬であった。患者68人が入院し、死亡者9人が報告された。患者の年齢範囲は0～100歳であった。患者の大多数が5歳以下の小児 (33%) または65歳以上の成人 (45%) であった。患者の55%が女性であった。

CFIAによる調査の結果、Malichitaブランドの回収対象のカンタロープメロン複数検体からサルモネラアウトブレイク株が検出された。

US CDC も、カンタロープメロンに関連して米国で発生したサルモネラ感染アウトブレイクを調査し、その原因株はカナダの本アウトブレイクの患者由来株と遺伝学的に同一の株であった。

(食品安全情報 (微生物) 本号 US CDC、No.1/2024 (2024.01.10) PHAC、No.26/2023 (2023.12.20)、No.25/2023 (2023.12.06)、No.24/2023 (2023.11.22) US CDC、PHAC 記事参照)

● 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<https://www.ecdc.europa.eu/en>

リステリア症 – 2022年次疫学報告書

Listeriosis - Annual Epidemiological Report for 2022

8 Feb 2024

https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/LIST_AER_2022_Report.pdf

(報告書 PDF)

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/listeriosis-annual-epidemiological-report-2022>

欧州疾病予防管理センター（ECDC）は、「リステリア症 － 2022 年次疫学報告書」を
発表した。内容の一部を以下に紹介する。

主な内容

- ・ 2022 年は、欧州連合／欧州経済領域（EU/EEA）加盟 30 カ国からリステリア症確定患者計 2,770 人が報告された。
- ・ EU/EEA 全体での人口 10 万人あたりの年齢標準化報告率（ASR）は 0.52 であった。
- ・ 人口 10 万人あたりの患者報告率が最も高かった年齢層は「65 歳以上」で 2.1 であった。
- ・ EU/EEA のリステリア症の年間確定患者数は 2020 年以降増加している。

疫学的状況

2022 年は、EU/EEA 加盟 30 カ国からリステリア症確定患者計 2,770 人が報告され、EU/EEA 規模のサーベイランスが開始されて以来、年間患者数として最多であった。EU/EEA 全体での人口 10 万人あたりの患者報告率は 0.62 であった（表 1）。ドイツ、フランスおよびスペインの患者数が特に多く（それぞれ 548 人、451 人、437 人）、これらの合計が EU/EEA の全確定患者数の 51.8%を占めた。報告率が特に高かった国はデンマーク、フィンランドおよびスウェーデンであった（表 1）。図 1 は、人口 10 万人あたりの患者報告率の国別分布である。

表 1：国別・年別のリステリア症確定患者数および人口 10 万人あたりの報告率（EU/EEA、2018～2022 年）

Table 1. Confirmed listeriosis cases and rates per 100 000 population by country and year, EU/EEA, 2018–2022

Country	2018		2019		2020		2021		2022	
	Number	Rate								
Austria	27	0.31	38	0.43	41	0.46	38	0.43	47	0.52
Belgium	74	0.81	66	0.72	54	0.59	68	0.74	87	0.94
Bulgaria	9	0.13	13	0.19	4	0.06	3	0.04	5	0.07
Croatia	4	0.10	6	0.15	5	0.12	8	0.20	5	0.13
Cyprus	1	0.12	1	0.11	2	0.23	1	0.11	1	0.11
Czechia	31	0.29	27	0.25	16	0.15	24	0.22	48	0.46
Denmark	49	0.85	61	1.05	43	0.74	62	1.06	86	1.46
Estonia	27	2.05	21	1.59	3	0.23	5	0.38	11	0.83
Finland	80	1.45	50	0.91	94	1.70	70	1.26	70	1.26
France	338	0.50	373	0.56	334	0.50	435	0.64	451	0.66
Germany	678	0.82	571	0.69	546	0.66	562	0.68	548	0.66
Greece	19	0.18	10	0.09	20	0.19	21	0.20	7	0.07
Hungary	24	0.25	39	0.40	32	0.33	35	0.36	64	0.66
Iceland	2	0.57	4	1.12	4	1.10	5	1.36	2	0.53
Ireland	21	0.43	17	0.35	6	0.12	14	0.28	17	0.34
Italy	178	0.29	202	0.34	155	0.26	230	0.39	345	0.58
Latvia	15	0.78	6	0.31	8	0.42	10	0.53	8	0.43
Liechtenstein	NDR	NRC	NDR	NRC	NDR	NRC	0	0.00	0	0.00
Lithuania	20	0.71	6	0.21	7	0.25	7	0.25	13	0.46
Luxembourg	5	0.83	3	0.49	4	0.64	4	0.63	4	0.62
Malta	1	0.21	5	1.01	5	0.97	0	0.00	1	0.19
Netherlands	69	0.40	103	0.60	90	0.52	86	0.49	94	0.53
Norway	24	0.45	27	0.51	37	0.69	20	0.37	30	0.55
Poland	128	0.34	121	0.32	57	0.15	120	0.32	142	0.38
Portugal	64	0.62	56	0.54	47	0.46	57	0.55	63	0.61
Romania	28	0.14	17	0.09	2	0.01	11	0.06	14	0.07
Slovakia	17	0.31	18	0.33	7	0.13	13	0.24	25	0.46
Slovenia	10	0.48	20	0.96	26	1.24	19	0.90	20	0.95
Spain	370	NRC	504	NRC	191	NRC	355	0.77	437	0.95
Sweden	89	0.88	113	1.10	88	0.85	107	1.03	125	1.20
EU/EEA (30 countries)	2 402	0.51	2 498	0.50	1 928	0.43	2 390	0.53	2 770	0.62
United Kingdom	168	0.25	154	0.23	NDR	NRC	NA	NA	NA	NA
EU/EEA (31 countries)	2 570	0.47	2 652	0.46	1 928	0.43	NA	NA	NA	NA

Source: Country reports.

NDR: No data reported.

NRC: No rate calculated.

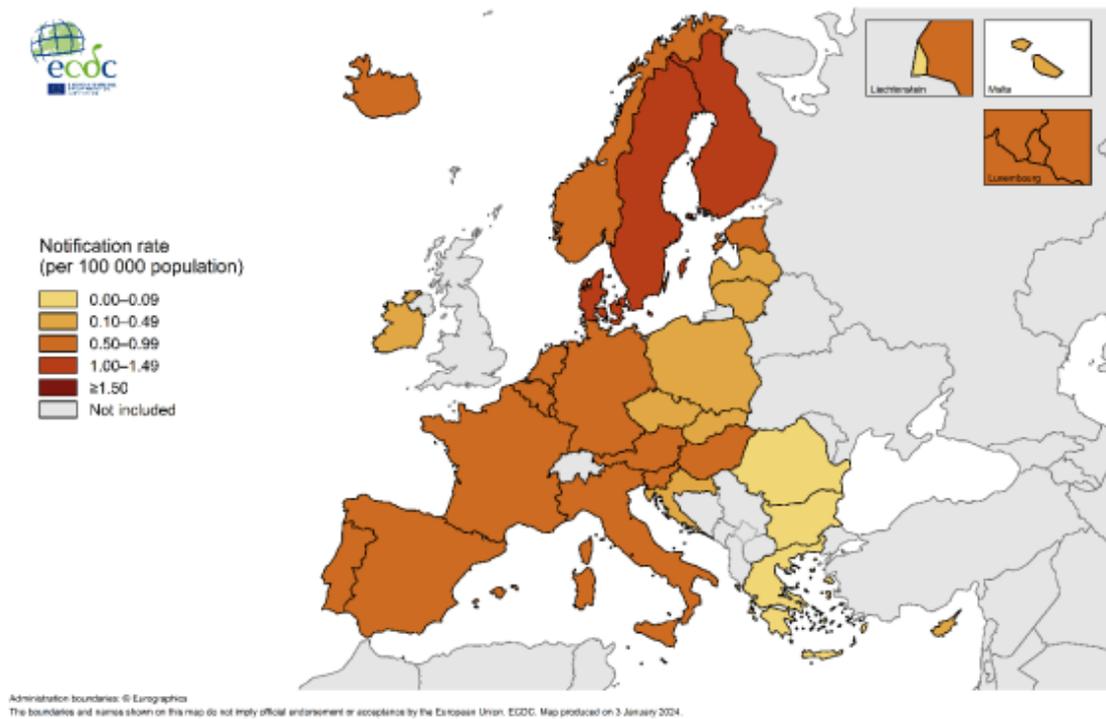
NA: Not applicable.

No data for 2020 and 2021 were reported by the United Kingdom, due to its withdrawal from the EU on 31 January 2020.

（情報源：各国の報告書、NDR：データの報告なし、NRC：報告率未計算、NA：適用せず。英国は 2020 年 1 月 31 日を最後に EU から離脱したため、2020 年および 2021 年のデータは報告されなかった。）

図 1: リステリア症確定患者の人口 10 万人あたりの報告率の国別分布 (EU/EEA、2022 年)

Figure 1. Confirmed listeriosis cases per 100 000 population by country, EU/EEA, 2022

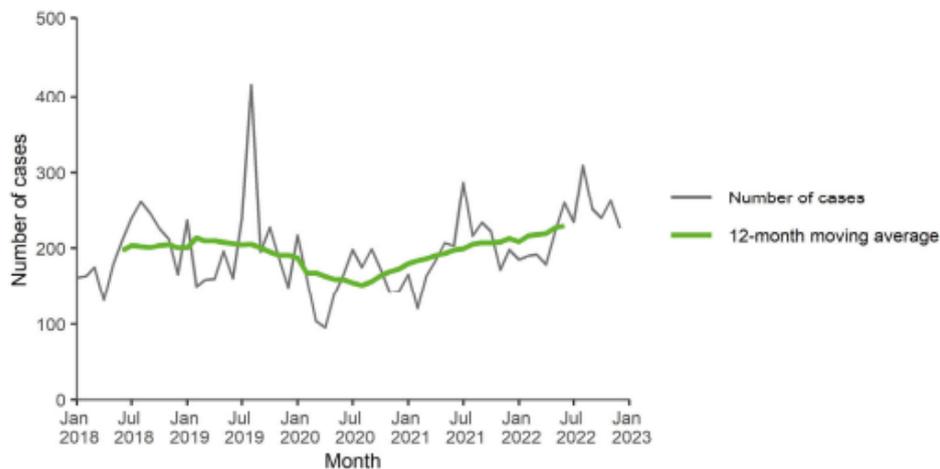


2018～2022年にリステリア症患者数を毎年報告したEU/EEA加盟国では、2018～2020年に減少した後、増加に転じた(図2)。

一般的に、リステリア症患者数は夏季にピークがあり、冬季にもやや増加する。2022年の月別患者数の推移は通常のパターンであったが、ほとんどの月で2018～2021年の月別患者数の平均より多かった(図3)。

図 2： リステリア症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2018～2022 年）

Figure 2. Confirmed listeriosis cases by month, EU/EEA, 2018–2022

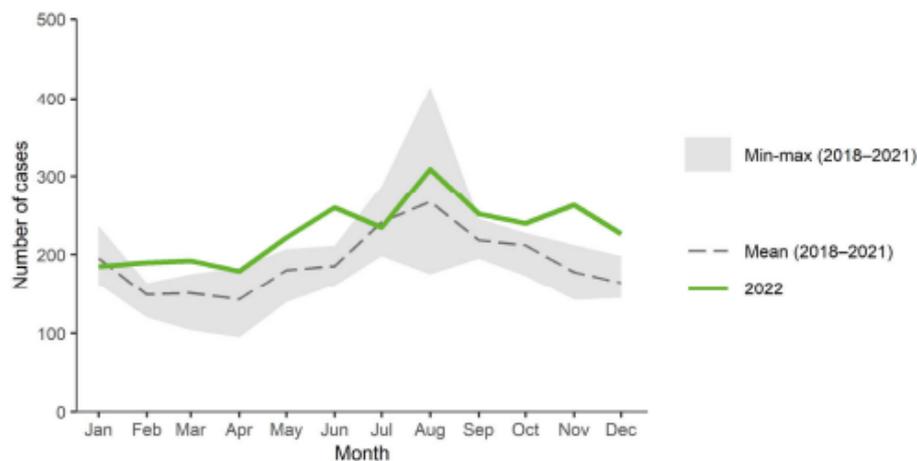


Source: Country reports from Austria, Belgium, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

（情報源：オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書）

図 3： リステリア症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2018～2021 年および 2022 年）

Figure 3. Confirmed listeriosis cases by month, EU/EEA, 2018–2021 and 2022



Source: Country reports from Austria, Belgium, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

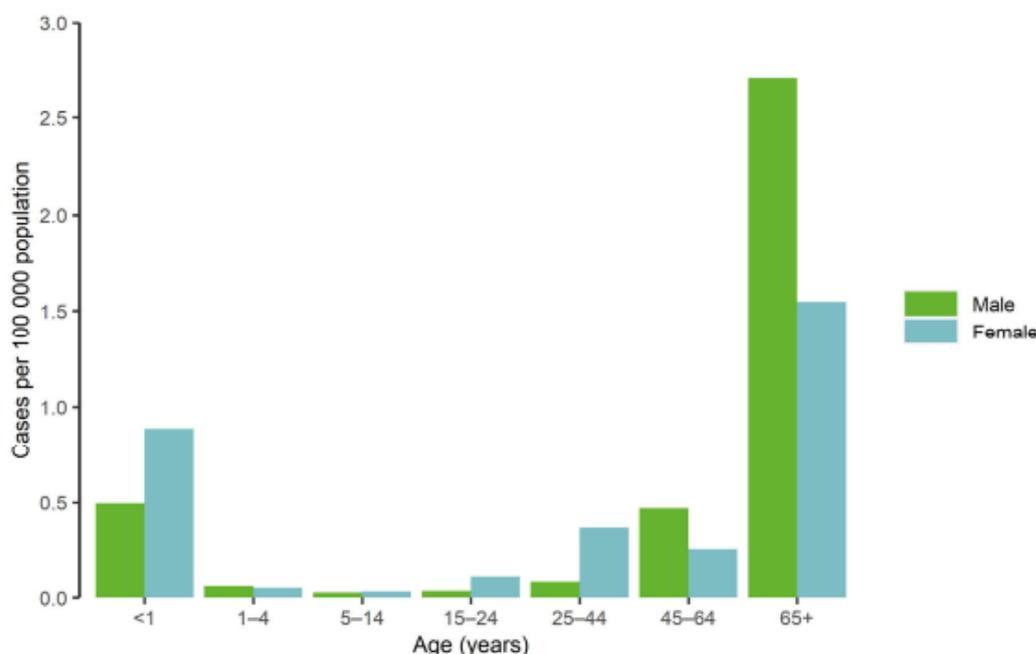
（情報源：オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア

ア、ラトビア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書)

性別が報告された確定患者 (2,766 人) のうち、54.2%が男性、45.8%が女性で、男女比は 1.2 : 1 であった。年齢層別では、「65 歳以上」の患者が 1,903 人で最も多く (71.0%【編者注：確定患者数 2,766 で割ると 68.8%】)、人口 10 万人あたりの患者報告率は 2.1 であった (図 4)。2022 年は、妊娠関連のリステリア症患者が 117 人報告された。このうち 23 人が流産または新生児死亡となった (妊娠の転帰が報告されたのは妊娠関連患者のうち 56.4%)。

図 4: リステリア症確定患者の人口 10 万人当たりの報告率の年齢層別・性別分布 (EU/EEA、2022 年)

Figure 4. Confirmed listeriosis cases per 100 000 population, by age and gender, EU/EEA, 2022



Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Liechtenstein, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書)

アウトブレイクおよびその他の脅威

2022 年は、感染症サーベイランスのためのポータルサイト EpiPulse を介して EU/EEA 加盟 8 カ国および非加盟 2 カ国からリステリア症アウトブレイク計 22 件が報告された。このうち 18 件には、EU/EEA 加盟の複数国にわたる事例であることを示す要素が認められなかった。複数国にわたるアウトブレイクについては、全 4 件で可能性のある感染源が特定され、原因株のシーケンスタイプ (ST) は ST8、ST155 および ST504 であった。複数国にわたるアウトブレイク 1 件の原因株に、いずれの ST にも分類されなかったことがない 7 つのアレルプロファイルが認められた。可能性のある感染源は、食肉加工製品が 2 件、サーモンとアーモンドミルクチーズが各 1 件であった。

(食品安全情報 (微生物) No.1 / 2024 (2024.01.10)、No.20 / 2023 (2023.09.27)、No.17 / 2023 (2023.08.16)、No.14 / 2023 (2023.07.05)、No.11 / 2020 (2020.05.27) ECDC 記事参照)

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2024 年 9 月 10～18 日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

イタリア産モッツァレラのリステリア (*L. monocytogenes*)、スペイン産セラーノハムのリ

ステリア (*L. monocytogenes*)、インド産皮むきゴマ種子のサルモネラ属菌、ブラジル産大豆ミールのサルモネラ (*S. Infantis*)、フランス産鶏カット肉のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、ポーランド産生肉製品 (チキンケバブ) のサルモネラ属菌、ポーランド産七面鳥肉のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、ポーランド産スモークベーコン (家禽以外) のリステリア (*L. monocytogenes*)、イタリア産薄切り味付きハム (コッパ) のリステリア、レバノン産タヒニのサルモネラ (*S. Muenster*) など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

ドイツ産牛肉のサルモネラ (*S. Mbandaka*)、北アイルランド産ペットフード用家禽ミールのサルモネラ、ポーランド産の生鮮ブロイラー肉のサルモネラ属菌、ルーマニア産鶏むね肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、エクアドル産エビのビブリオ (*V. vulnificus*)、フランス産鶏肉製品のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、フランス産食肉製品 (rosette) のリステリア、オランダ産スプラウトのサルモネラ、ポーランド産の生鮮鶏もも肉のサルモネラ (*S. Newport*、1/5 検体陽性)、エクアドル産エビのコレラ菌と腸炎ビブリオなど。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

ポーランド産ジンジャーブレッド (チョコレートコーティング) のカビ、原産国不明の大豆ミール (遺伝子組換え) のサルモネラ (*S. Montevideo*) など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

ウクライナ産菜種ミールのサルモネラ (*S. Senftenberg*)、トルコ産イヌ用餌のサルモネラ (*S. Anatum*、*S. Brancaster*、*S. Montevideo*)、ウクライナ産飼料原料 (ヒマワリ搾油粕) のサルモネラ属菌など。

● 欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

<https://www.efsa.europa.eu/en>

フードチェーンにおいて計画的に使用される微生物の全ゲノムシーケンシング (WGS) 解析の要件に関する欧州食品安全機関 (EFSA) の声明

EFSA statement on the requirements for whole genome sequence analysis of microorganisms intentionally used in the food chain

Published: 12 August 2024

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2024.8912> (意見書全文 PDF)

<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/8912>

欧州食品安全機関（EFSA）は、フードチェーンにおいて計画的に使用される微生物の全ゲノムシーケンシング（WGS）解析の要件に関する意見書を発表した。

要旨

微生物は、遺伝子改変の有無にかかわらず、活性物質、バイオマス、または目的とする物質の生産生物として、フードチェーンで使用されることがある。欧州の市場へのこれらの微生物や微生物由来原料／製品の導入には、流通前の承認手続きが必要となる可能性がある。微生物が、そのまま、またはバイオマスや生産株としてフードチェーンで使用される場合、承認手続きには微生物の安全性／有効性を立証するためのリスク評価が必要となる。これには、評価対象の微生物に関する遺伝子の特性解析が含まれる。一部の規制対象製品については、リスク評価の要件として、微生物の WGS 解析データの使用が規定されている。これに関しては、WGS 解析のデータから、分離株の明確な分類学的識別情報が明らかになるとともに、懸念材料となる遺伝子の存在に関する情報（病原性因子をコードするもの、ヒトや動物において临床上重要な抗微生物剤への耐性、有害代謝物または临床上重要な抗微生物剤の産生など）、および遺伝子改変の特性（重要な場合）に関する情報が得られる可能性がある。本意見書は、規制対象製品の販売承認申請の観点から、WGS 解析の結果を説明および報告する方法について申請者向け提言をまとめている。また、WGS 解析の実施方法と精度の基準・閾値に関する要件、および必要に応じて提出すべきデータや関連情報についても説明している。本意見書は、EFSA が 2021 年に発表した意見書の更新版であり、微生物のリスク評価のための WGS データを作成・分析する際に使用すべき技術・手法に関する最新の知見を反映させたものである。

（食品安全情報（微生物） No.20 / 2021（2021.09.29） EFSA 記事参照）

● ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR: Bundesinstitut für Risikobewertung）

<https://www.bfr.bund.de/>

バーベキューによる食品由来感染症および健康に有害な物質の生成を防ぐための方法

Healthier barbecuing: How to avoid food infections and the formation of substances that are harmful to health

12 July 2024

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/healthier-barbecuing-how-to-avoid-food-infections-and-the-formation-of-substances-that-are-harmful-to-health.pdf>

ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR) は、バーベキューによって発生する健康被害を防ぐための助言を発表した。この中から、サルモネラやカンピロバクターなどの細菌性病原体に関する内容を以下に紹介する。

○ 食品の細菌汚染を防ぐ

食品中の病原性細菌は、悪心・下痢・嘔吐などを引き起こす可能性があり、重篤な感染症の原因となることもある。夏は気温が上がるため、食品中の細菌が急速に増殖する可能性があり、食品由来感染症のハザードが特に高くなる。

例えばサルモネラは、気温が 7°C を超えると急激に増殖する可能性がある。このため、生で喫食される食品のコールドチェーンが確実に維持されることが特に重要である。したがって、サラダ、バーベキューソースおよびデザートは、喫食の直前に冷蔵庫内から取り出すべきである。また、一年のうちの少なくとも気温が高い数カ月間は、自家製のマヨネーズやティラミスなどのデザート等に、生卵の使用を避けることが推奨される。

食肉や魚に存在する細菌は、グリル調理などの高温加熱によって通常は死滅する。しかし、調理中でも、加熱前の食肉、鶏肉、魚などからマリネ液、手指、食器類およびその他の物の表面にカンピロバクターなどの病原菌が移行する可能性がある。つまり、その他の食品にも交差汚染が起こる可能性がある。汚染された食品が再加熱されずに喫食されると健康危害が生じる可能性がある。

したがって、生の動物性食品は、その他の食品とは別に保存・調理すべきである。衛生管理（調理の各段階で手洗いや調理器具・設備表面の洗浄を行うなど）は、サラダなどの生で喫食する食品やその他の副菜への交差汚染の防止に役立つ。また、バーベキューの際は、可能であれば専用の食器類を 2 セット用意し、1 セットはバーベキューに使用するマリネ液漬きの生の食肉・魚用として、もう 1 セットは加熱済み食品の提供用として使い分けるべきである。

バーベキューによる健康被害を防ぐ方法に関する詳細情報 (FAQ) は BfR の以下の Web ページから入手可能である。

https://www.bfr.bund.de/en/selected_questions_and_answers_about_barbecuing-60851.html

● ProMED-mail (The Program for Monitoring Emerging Diseases)

<https://promedmail.org>

コレラ、下痢、赤痢最新情報 (53) (52) (51) (50) (49) (48) (47) (46) (45) (44)

Cholera, diarrhea & dysentery update (53) (52) (51) (50) (49) (48) (47) (46) (45) (44)

20, 18, 16, 15, 14, 13, 8, 5 & 4 September 2024

コレラ、下痢、嘔吐

国名	報告日	発生場所	期間	患者数	死亡者数
ナイジェリア	9/15	アダマワ州 Yola-North	9/15 の発表	(累計)40	(累計)4
	9/5	エド州	9/5 の発表	(累計)(疑い)40 (うち確定)6*	
スーダン	9/17	全国		(新規)266	
			8月～	(死亡者含む)9,533	315
	9/11	5州**など		5,000 以上	191
		国境なき医師団 の施設で治療	8月末～9/9	2,165	
		ダルフル		0	
	9/5	4州	9/5 の発表	(新規)計 261 (累計)計 4,190	(累計) 計 156
	9/1	リバーナイル州		(新規)87 (累計)409	(新規)3 (累計)14
イラク	9/15	エルビルの Koysinjaq		3	
	9/9	Koya	9月～	(下痢、嘔吐など)250	
ブルガリア	9/14	インドのニュー デリーから帰国	旅行期間：8/13 ～9/2	1	
ニジェール	9/10	Bouza の Karofane	9/6 までの数日 間	40 以上	3
台湾	9/3		8/25～31	(下痢)129,536	
			直近 4 週間	(下痢)98 クラスタ†	

* 地域別内訳：Egor (3人)、Uhunmwonde (2人)、Ikpoba Okha (1人)

** 特に患者が多い州：カッサラ、ガダーレフ、リバーナイル、ゲジーラ、ハルツーム

† このうち 48 クラスタが何らかの病原体に陽性 (ノロウイルス陽性 29 人、腸炎ビブリオ陽性 14 人など)

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室